

あと施工アンカー工事
接着系／エポキシ樹脂注入(横向き)

標準施工手順

現場名

社名

(1) 作業前ミーティング

(2) 機材・材料搬入

(3) 準備

(4) 穿孔

(5) 孔内清掃と穿孔径・穿孔深さ・穿孔角度の確認

(6) 固着と養生

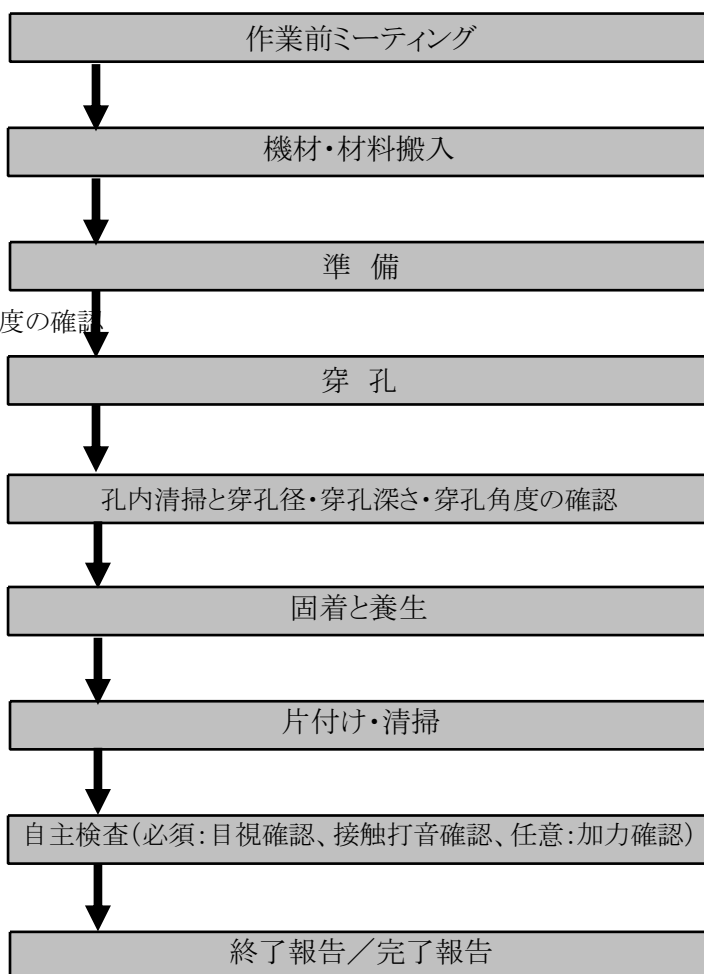
(7) 片付け・清掃

(8) 自主検査

必須: 目視確認、接触打音確認

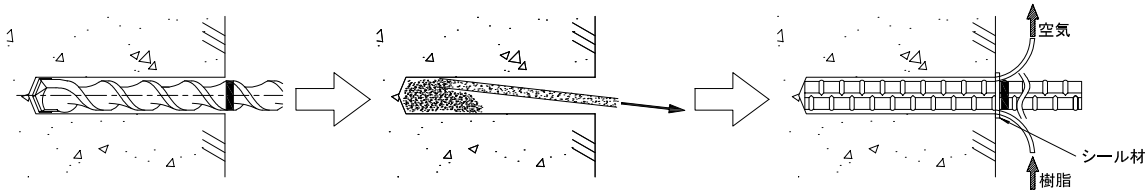
任意: 加力確認

(9) 終了報告／完了報告



・標準施工手順

施工手順	確認・注意事項
(1) ミーティング	
① 作業前ミーティング	作業員の健康状態のチェック・予定作業の確認 施工数量・作業手順の確認、搬入時通路の確認
(2) 機材・材料搬入	
② 足場等施設の確認	作業区域、場所で安全に作業出来るか作業主任者の点検 ※足場が不安全な場合は管理者と協議し修正をお願いする
③ 定着位置の確認	図面および監督立会いのもと確認を行う
④ 機材・材料搬入	指定通路を用いて安全に気をつけて搬入を行う
(3) 準備	
⑤ 準備	施工工具・アンカー筋等の準備・確認 使用する材料の製品・容量・有効期限を確認
⑥ 墨出し(穿孔位置)の確認	墨出し(穿孔位置)を確認する ※墨出しは管理者の業務
⑦ 埋設物の確認	・鉄筋や配管等の位置・深さを確認 ・電磁波レーダー法は、参考最大深度:600 mm(SIR-EZXT) ・電磁誘導法は、参考最大深度:200 mm(PS300) ・電磁波レーダー法は、鉄筋・塩ビ管・空洞を探索対象 ・電磁誘導法は、鉄筋のみ探索対象

(4) 穿孔	
⑧ コンクリートドリルの選定	所定のビット径、有効長のドリルの選定
⑨ マーキング	コンクリートドリルにマーキング または穿孔深さ調整機構による設定
⑩ コンクリートの穿孔	コンクリート面に対し直角に穿孔
(5) 孔内清掃と穿孔深さの確認	
⑪ ブロワー・バキューム等で清掃する	穿孔後、孔内の切粉を吸塵 孔内に残留物が無いか確認する
⑫ 穿孔径と穿孔深さの確認	ノギスなどで、穿孔径と孔壁に沿って穿孔深さを計測
⑬ ブラシがけ	穿孔深さや径に適合したブラシを用いて、孔壁面に付着している切粉を充分に掻き落とす
⑭ ブロワー・バキューム等で清掃する	再び孔内の切粉を吸塵 孔内に残留物が無いか確認する
(6) 固着と養生	
⑮ ブルーシート等で養生	周囲にエポキシ樹脂飛散が無いように養生する
⑯ アンカー筋にマーキング	埋め込み深さをマーキングする
⑰ アンカー筋を孔に挿入する	スペーサーを用いて芯を合わせる
⑱ 注入・エア抜きパイプを設置する	パイプの埋め込み深さに注意する
⑲ 孔口にシール材を充填し隙間を塞ぐ	隙間が無いか確認する
⑳ 硬化養生	シール材の硬化確認
㉑ クリアパイプ取付	エア抜きパイプに取り付ける
	
㉒ エポキシ樹脂計量	樹脂量の管理
㉓ エポキシ樹脂攪拌	エアの混入に注意しながら攪拌する
㉔ エポキシ樹脂注入	樹脂流出・飛散に注意する
㉕ 硬化養生	所定の硬化時間内はアンカー筋を動かさない
㉖ パイプ撤去	硬化後パイプを撤去する
㉗ 欠損や空隙の充填	パイプ撤去後の欠損箇所及び空隙に樹脂材充填する
(7) 片付け・清掃	
㉘ 片付け・清掃	作業箇所の片づけ・清掃
(8) 自主検査	

㊹ 自主検査	必須:目視確認、接触打音確認、任意:加力確認
(9) 終了報告／完了報告	
㊺ 終了報告／完了報告	当日の作業報告書／工事完了時に提出する報告書

下記資料を基に手順書を作成

あと施工アンカー施工指針（案）

（接着系/注入方式/カートリッジ型）

－ミキシングノズル式（有機系）－

2017年2月

接着系/注入方式/カートリッジ型施工指針(案) 2017.02.05

